

地域社会・従業員への責任

社会貢献活動

地域はもちろん、地球規模でも社会に貢献していきます

●150万本の森づくり

東芝グループは、2005年7月から東芝グループ150万本の森づくりを進めています。東芝キャリアグループでもこの活動に呼応し、2008年3月には、森林整備費用を当社が負担することを目的とした静岡県および富士市との「しずおか未来の森サポーター協定」に署名するとともに、「富士山こどもの国」敷地内に従業員とご家族285名の参加を得て、約3,000本の植樹を行いました。



植樹作業の様子

●地域でのコミュニケーション

地域の皆さまとのコミュニケーションを図る目的で、2007年8月、富士事業所において夏まつりを開催しました。富士事業所グラウンドを会場に2万人が参加したこの夏祭りは、富士市の夏の風物詩として地域の方々にも喜んでいただくことができました。模擬店、神輿、盆踊りなどに加え、社会貢献の一環でチャリティバザーも行われ、収益金は富士市社会福祉施設に贈呈しました。



夏まつり会場



赤十字への寄付

●中国四川大地震での被災者支援

2008年5月、四川大地震の被災者救援のために、当社として100万円(約1万米ドル)を日本赤十字社「中国大地震救援金」を通じて寄付しました。被災者の皆さまに、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

人財の育成活動

従業員のことを考えた多面的な取り組みを行っています

●子ども参観日

東芝キャリア株式会社の次世代育成支援行動計画の一環として、従業員の子どもが親の職場を見学する「子ども参観日」を2007年8月に実施しました。小学3年生以上6年生以下を対象に約120名が参加しました。富士事業所の参観施設であるAIRSや製造ラインの見学、子ども抽選会を行った後、工場に出社している親と一緒に帰宅し、親が働く職場を体験できた貴重な一日となりました。

●スポーツ・健康推進

東芝キャリア株式会社は、スポーツ・健康推進にも力を注いでいます。東芝キャリアグループCSR活動推進PRの観点から、2008年5月には、国内営業担当の堀井伸一郎さんのインディアカ世界大会出場を応援しました。さらに、経営の最重要課題として、従業員の安全・健康の確保に努め、OHSAS18001認証取得を進めています。

●障がい者／女性の職域拡大

東芝キャリア株式会社は、2008年4月1日現在の障がい者雇用率は2.3%で法定の1.8%を超えています。また、すべての連結会社においても法定雇用率を達成しています。東芝キャリアグループとして、今後も障がいをもつ方々の職場への定着を図るとともに、職場環境の整備や職域の拡大を進めていきます。さらに、多様性確保にも配慮し、2008年新卒採用では男女比率を同数とし、女性の職場進出を積極的に進めていきます。

トピックス

社会性報告

環境活動報告

その他